

地域医療連携ネットワーク構築へ向けて PACS システムを導入



ささやま医療センター 放射線科の皆さん

導入経緯

以前から兵庫医科大学は西宮本院で PACS300 台を導入しております。兵庫医科大学病院が目指す「地域医療ネットワーク構築」を実現するために、カルテの電子化や画像のフィルムレス化の必要性を感じたからです。本院の PACS 導入に伴い、ささやま医療センターも合わせて PACS・電子カルテを導入するべきという判断に至りました。また、篠山病院は兵庫医科大学が国立篠山病院の経営移譲を受けて運営してきました。そして公的助成金が支給されることとなり、兵庫医科大学篠山病院は、ささやま医療センターと改称し、新設リニューアルオープンすることとなりました。それに併せて PACS・電子カルテも導入することとなりました。

柔軟な対応能力と
 地域ネットワーク医療構築の共有ビジョン

当院がアストロステージの PACS を採用した理由は 3 点あります。まず 1 点目は、画像が高速で表示される点に魅力を感じたからです。アストロステージの画像ビューア NazcaView は他社のビューアと比べ、早く画像を見ることができるといった評判を以前から聞いていました。実際、デモの際に CT などスライス数が多く、データ量も多い画像を即座に見ることができ、画像の高速表示を実感したこともアストロステージを採用した理由の 1 つです。2 点目は、大手にはない柔軟な対応力です。システム稼働の期日が迫っていましたが金額交渉から入るのではなく、まずは当院の要望に応え、共により良い医療ネットワークを構築していこうという姿勢を感じました。この点も採用を決めた大きなポイントです。3 点目は、上記の姿勢から当院が目指す「地域医療ネットワークの構築」というビジョンを共有できるビジネスパートナーとなりうると感じたからです。以上 3 点の理由から他院にも多くの導入実績があるアストロステージを採用しました。

導入システム

DICOM 変換ツール	Transfer Tool
診療情報統合システム	STELLAR
ドキュメント作成&管理システム	STELLARReport
画像キャプチャシステム	ARKGate

導入効果

過去画像との比較が容易になり、
 患者様へ提供する医療サービスの質が向上

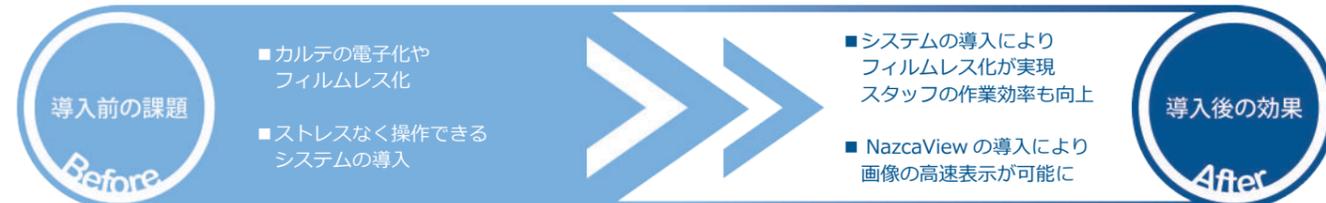
PACS システム導入により、画像が高速で表示されるようになった為、過去画像との比較が容易にできるようになりました。また、デジタル画像ということを活かし、多くの閲覧機能（画像の補正・様々な表示技法）が搭載され、ユーザ毎のカスタマイズが可能で、とても効率的に画像を閲覧することができるようになりました。

業務面では、導入以前は看護師や事務スタッフがその都度過去のフィルムを探しに行っていたのですが、システム導入によりフィルムレスが実現し、過去のフィルムを探す手間だけでなく、日々行っていたフィルムの管理・片付け等の業務も削減されました。そのため、過去のフィルムを探す等の業務で費やしていた時間を、患者様への対応に充てることできるようになったのです。患者様の対応に時間が割けるようになったことにより、患者様へ提供できるサービスの質が向上しました。また、フィルムレスにより、看護師や事務スタッフの作業効率も向上しました。

今回、アストロステージのシステムを導入したことによって、医師だけでなく現場のスタッフも大変満足しています。



NazcaRIS 操作風景



ささやま医療センター：システム導入時期 / Jun 2010



兵庫医科大学篠山病院は 2010 年 6 月、地域の医療機関等と連携しながら地域医療を支援すべく、最新の医療機器を設置した兵庫医科大学ささやま医療センターとしてリニューアルオープンしました。丹波・篠山地域に必要なプライマリ・ケアと高度医療を行うという医療方針の下、今後も大学病院としての先進的な高度医療を実施すると同時に、24 時間体制の救急医療はもとより地域医師会等との連携を行い、丹波地域の中核病院として良質な医療を提供できるよう努力し、地域医療の充実に貢献していきます。また、臨床実習の医学生および臨床研修医を加えた教育病院としての役割も担い、よき医療人の育成を支援してまいります。

所在地：兵庫県篠山市黒岡 5
 病床数：180 床（一般病床：136 床 / 療養病床：44 床）
 診療科：総合診療科・循環器内科・肝胆膵内科・呼吸器内科・消化器内科・小児科
 消化器外科・乳腺外科・整形外科・産婦人科・放射線科・麻酔科・リウマチ科
 リハビリテーション科・神経内科・ペインクリニック科・糖尿病内科
 内分泌 / 代謝内科・耳鼻咽喉科・皮膚科・精神科・泌尿器科

今後の方針

地域医療ネットワークを構築し、兵庫県の地域医療ネットワークの中核を担っていきたくと考えています。当院が患者様の情報を地域の開業医と共有し、開業医が自由に出入りできる検査センターとして機能することにより、開業医は高価な医療機器を購入することなく、患者様の検査データ・結果を取得することができます。そして、患者様は自宅の近くの病院でも大学病院と同じレベルの診療が受けられるというわけです。

このように当院は患者様がどこの病院に行っても、質の高い医療サービスが受けられる地域医療ネットワークの構築を目指し、地域医療に貢献してまいります。

今後の期待・要望

今後も当院のビジョンを理解して頂き、そのビジョンを共有し、共に実現しよう、創っていこうという姿勢を大切にしていってほしいです。また現場の声によく耳を傾け、大手にはない柔軟な対応力と積極性を持ち続けて欲しいです。

システム構成図

